

平成30年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

H30 事業名	ふるさとアート工房事業	事業コード	375
------------	-------------	-------	-----

総合戦略	基本施策 体系	基本目標	基本施策	実施施策	325
		若くて元気のまちの創造	学力・体力日本一のまち	文化活動の推進	

PLAN (計画)	部署名	文化課	開始年度	1990	終了年度	9999
	目的	一流の芸術家との触れ合いを通じて豊かな感性を育み、作品を作る楽しさ、面白さを体感し芸術文化への理解を深める。また、作品制作の題材として、市内の伝統芸能、祭りなど文化的要素を活用することにより、鯖江の文化の素晴らしさを改めて再認識する。				
	概要	洋画家西山松生先生の指導による絵画教室で、市内の各地区の祭りを題材に「西山松生絵楽塾」を開催。また、平成27年度より国内外で活躍する本市ゆかりの芸術家が各地区の学校等を巡回指導し、ふるさとのすばらしさや絵を描く楽しさを子どもたちに体感してもらう「アーツクルーズ」をふるさと学習の一環として同時期に開催する。				
	法令 根拠					
実施 形態	現在	市直営				
	内容	市が参加者を募集し、郷土出身の芸術家に講師を依頼して、無料で絵画教室を開催している。				

DO (実施)	活動指標								
	指標名	単位	年度	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	H31(2019)	
	開催回数	回	目標値	1	2	2	2	2	
			実績値	1	2	3			

DO (実施)	成果指標								
	指標名	単位	年度	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	H31(2019)	
	参加者数	人	目標値	80	80	80	80	80	
			実績値	93	77	126			
	計算 根拠	達成率 (%)		116.3	96.3	157.5			
実数値									
	ランク		A	A	A				

タイプ	会計	一般会計	事業 要員	正規職員	0.2
	事業タイプ	単独事業		臨時・嘱託	0.01
	経費区分	物件費		※所要時間	0

【単位:千円】

事業費	区分	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	補助金等名称
	予算額	348	353	382	501	323	
	決算額	244	353	382	501		

平成30年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

CHECK(評価)	必要性	【ニーズ】 住民等のニーズは十分に ありますか。 <input type="text" value="ある"/>	根拠		
		【行政関与】 行政が実施すべき事業で すか。 <input type="text" value="はい"/>	根拠	市民の間に広く参加者を募るために、無料で地元出身者の著名な絵画教室を実施するには、行政の関与が必要である。	
	効率・効果	【競合】 国、県、または民間のサー ビスと競合している事業は ないですか。 <input type="text" value="ない"/>	主体		【廃止可能性】 ある場合、当該事業の廃 止は可能ですか。 <input type="text"/>
		事業名			
		根拠			
	有効性	【類似重複】 本市の事務事業の中で、 目的や概要が類似する事 務事業はないですか。 <input type="text" value="ない"/>	所管課		【統廃合可能性】 ある場合、当該事業の統 廃合は可能ですか。 <input type="text"/>
事業名					
根拠					
有効性	【コスト削減】 今以上に、コストを削減す る余地はありますか。 <input type="text" value="ない"/>	根拠	講師の報償費や旅費、宿泊費等事業の実施に欠かせない経費である。		
	【財源確保】 今以上に、財源を確保す る方法がありますか。 <input type="text" value="受益者負担"/>	根拠	受講者から参加料を徴収することは可能である。		
	【成果向上】 今以上に、成果を向上させ る余地はありますか。 <input type="text" value="ない"/>	根拠	絵画塾の作品は、まなべの館等で展示したり、市美術展への出品を促し発表も場を設けていく。会場については、地域的なバランスに配慮し、市内の地域文化を広く市民に知っていただけるように努めていく。また、アーツクルーズでは、市内の各学校を巡回し、多くの子どもたちに芸術文化、ふるさとの素晴らしさを知ってもらえるように努めていく。		

ACTION	【平成30年度 取組み】 <input type="text" value="維持"/>	【平成31年度 方向性】 <input type="text" value="事務改善"/>
	平成30年度取組み 郷土出身で県内外で活躍する芸術家を招き、ふるさと学習の一環として市内の学校を訪問し、子どもたちが自由に芸術文化を体験できる「アーツクルーズ」等を開催する。	平成31年度計画 郷土出身で県内外で活躍する芸術家を招き、ふるさと学習の一環として市内の学校を訪問し、子どもたちが自由に芸術文化を体験できる「アーツクルーズ」を開催。H30年度より、若手現代美術作家も加わりより充実した内容で行っているが、次年度からは市内の児童生徒が就学期間中に一度は体験できるよう、実施のあり方を改善していく。

【H31提案型市民主役オープン事業実施】 <input type="text" value="可能"/>						
年度	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	H31(2019)
取組選択	可能	可能	可能	可能	可能	可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

平成30年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

H30 事業名	鯖江市文化協議会事業補助金	事業コード 583
------------	---------------	--------------

総合戦略	基本施策 体系	基本目標	基本施策	実施施策	325
		若くて元気のまちの創造	学力・体力日本一のまち	文化活動の推進	

PLAN(計画)	部署名	文化課	開始年度	0	終了年度	9999
	目的	文化振興に寄与する文化団体の育成を図る。地方文化の向上を図るため、伝統的文化、芸能、行事等の育成、ならびに継承保存に努め豊かな文化のふるさとづくりを図る。				
	概要	鯖江市文化協議会に対する補助金の交付。文化のふるさとづくりに要する経費。観月の夕べ、県文協選抜芸能祭・美術展、市文協芸能祭、市文協総合展・合同茶会。				
	法令根拠					
	実施形態	現在	補助金等交付			
	内容					

DO(実施)	活動指標								
	指標名		単位	年度	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	H31(2019)
	構成団体の数		団体	目標値	35	35	35	35	35
				実績値	35	35	35		
	成果指標								
	指標名		単位	年度	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	H31(2019)
	構成団体の構成員数		人	目標値	350	350	350	350	350
				実績値	359	350	350		
	計算根拠	文化協議会からの聞き取り		達成率(%)	102.6	100	100		
				実数値					
			ランク	A	A	A			

タイプ	会計	一般会計	事業要員	正規職員	
	事業タイプ	単独事業		臨時・嘱託	
	経費区分	補助費等		※所要時間	16

【単位:千円】

事業費	区分	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	補助金等名称
	予算額	2,150	2,150	2,150	2,150	2,150	
	決算額	2,150	2,150	2,150	2,150		

平成30年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

CHECK(評価)	必要性	【ニーズ】 住民等のニーズは十分に ありますか。 <input type="text" value="ある"/>	根拠	心のゆとりややすらぎを求める風潮から、市民の市民主体の文化芸術活動に対するニーズは十分にある。		
		【行政関与】 行政が実施すべき事業で すか。 <input type="text" value="はい"/>	根拠	市民が主体となった文化振興の中心的団体である文化協議会への助成は、行政が行うべきである。		
	効率・効果	【競合】 国、県、または民間のサー ビスと競合している事業は ないですか。 <input type="text" value="ない"/>	主体		【廃止可能性】 ある場合、当該事業の廃 止は可能ですか。 <input type="text"/>	
			事業名			
		根拠				
	【類似重複】 本市の事務事業の中で、 目的や概要が類似する事 務事業はないですか。 <input type="text" value="ない"/>	所管課		【統廃合可能性】 ある場合、当該事業の統 廃合は可能ですか。 <input type="text"/>		
事業名						
根拠						
【コスト削減】 今以上に、コストを削減す る余地はありますか。 <input type="text" value="ない"/>	根拠	補助金であるので、補助団体が事業を縮小しない限り困難である。				
有効性	【財源確保】 今以上に、財源を確保す る方法がありますか。 <input type="text" value="なし"/>	根拠	市が交付する補助金であるので、今以上に財源を確保する方法はない。			
	【成果向上】 今以上に、成果を向上させ る余地はありますか。 <input type="text" value="ない"/>	根拠	補助金であるので、所管課の指導は必要であるが、補助金を増額しても、基本的には、文化協議会自体の事業であり、成果の向上についても、協議会で考えることである。			

ACTION	【平成30年度 取組み】 <input type="text" value="維持"/>	【平成31年度 方向性】 <input type="text" value="維持"/>
	平成30年度取組み 鯖江市文化協議会に対して、市民が主体の文化振興事業を実施してもらうために補助金を交付する。平成30年度は福井県市町村文教選抜芸能祭開催場所となるため事業開催に係る補助金を交付する。	平成31年度計画 鯖江市文化協議会に対して、市民が主体の文化振興事業を実施してもらうために補助金を交付する。総合展と美術協会展は、会期が近いため統合できないかを引き続き検討したい。

【H31提案型市民主役オープン事業実施】 <input type="text" value="不可能"/>						
年度	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	H31(2019)
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

平成30年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

H30 事業名	史跡兜山古墳環境整備事業	事業コード 606
------------	--------------	--------------

総合戦略	基本施策 体系	基本目標	基本施策	実施施策
		若くて元気のまちの創造	学力・体力日本一のまち	文化活動の推進
325				

PLAN(計画)	部署名	文化課	開始年度	2006	終了年度	9999
	目的	国指定文化財「史跡兜山古墳」の保存と活用をより効果的に行うために必要な環境整備事業を実施する。				
	概要	北陸最大の円墳である国指定文化財「史跡兜山」の用地買収を実施し、整備計画・設計書を策定し、古墳公園化を目指す。				
	法令 根拠	文化財保護法				
実施 形態	現在	市直営				
内容	国庫補助事業(国宝重要文化財等保存整備費補助金)として市が史跡指定地を用地買収を実施し、整備計画・設計書を策定し、古墳公園化を目指す。する。					

DO(実施)	活動指標								
	指標名	単位	年度	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	H31(2019)	
	※設定困難		目標値						
			実績値						

DO(実施)	成果指標								
	指標名	単位	年度	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	H31(2019)	
	事業進捗率	%	目標値	-	10	13	16	18	
			実績値	-	10	13			
	計算 根拠	公有化は平成28年度で終了。平成29年度は基本計画、平成30年度に基本設計、平成31年度に実施設計、平成32年度・平成33年度に施工し、完成の予定であるため、全期間の指標を面積等で示すのは困難なため、全体の進捗率とした。	達成率 (%)	-	100	100			
			実数値		10/100	13/100			
		ランク	-	A	A				

会計	一般会計	事業要員	正規職員	0.25
事業タイプ	補助(国)事業	事業要員	臨時・嘱託	
経費区分	普通建設事業費	事業要員	※所要時間	0

【単位:千円】

事業費	区分	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	補助金等名称 国宝重要文化財等保存整備費補助金 (国庫補助) 国指定文化財保存修理等補助事業補
	予算額	41,341	0	29,070	7,053	7,200	
	決算額	40,002	0	29,070	7,053		

平成30年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

CHECK(評価)	必要性	【ニーズ】 住民等のニーズは十分に ありますか。 <input type="checkbox"/> ある	根拠	兜山古墳は、北陸地方最大級の円墳であり、国指定文化財でもあるので、その整備・保存・活用については、地元のみならず、十分に市民ニーズがある。	
		【行政関与】 行政が実施すべき事業で すか。 <input type="checkbox"/> はい	根拠	国庫補助事業として実施するため、事業は行政が実施しなければならない。	
	効率・効果	【競合】 国、県、または民間のサー ビスと競合している事業は ないですか。 <input type="checkbox"/> ない	主体		【廃止可能性】 ある場合、当該事業の廃 止は可能ですか。 <input type="checkbox"/>
			事業名		
	有効性	【類似重複】 本市の事務事業の中で、 目的や概要が類似する事 務事業はないですか。 <input type="checkbox"/> ない	所管課		【統廃合可能性】 ある場合、当該事業の統 廃合は可能ですか。 <input type="checkbox"/>
			事業名		
			根拠		
有効性	【コスト削減】 今以上に、コストを削減す る余地はありますか。 <input type="checkbox"/> ある	根拠	整備内容を見直すことにより、コストを削減することは可能である。		
		根拠	【財源確保】 今以上に、財源を確保す る方法がありますか。 <input type="checkbox"/> なし		
			【成果向上】 今以上に、成果を向上させ る余地はありますか。 <input type="checkbox"/> ある		
		根拠	国や県の補助金を活用しており、今以上に財源を確保する方法はない。		
		根拠	早急に、地元と公有化の協議を整える必要がある。		

ACTION	【平成30年度 取組み】	<input type="checkbox"/> 維持	【平成31年度 方向性】	<input type="checkbox"/> 内容拡大
	平成30年度取組み	平成29年度で整備基本計画がまとまるので、平成30年度は次のステップである「基本設計書」作成に移行する。	平成31年度計画	<p>昨年度より内容拡大。 平成31年度は「実施設計書」作成を委託。また、本工事前の準備工事にも着手することから、予算を増額して古墳整備事業にあたる。</p> <p>委託内容：実施設計書作成委託 工事内容：樹木伐採工、既存設備撤去工を予定</p>

【H31提案型市民主役オープン事業実施】		<input type="checkbox"/> 不可能				
年度	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	H31(2019)
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

平成30年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

H30 事業名	やんしき保存協会活動費補助金	事業コード	1945
------------	----------------	-------	------

総合戦略	基本施策 体系	基本目標	基本施策	実施施策
		若くて元気のまちの創造	学力・体力日本一のまち	文化活動の推進

325

PLAN (計画)	部署名	文化課	開始年度	0	終了年度	9999
	目的	やんしき踊りの保存および普及活動を行い、鯖江の伝統芸能を守り、地域の連帯を深める。				
	概要	やんしき保存協会の活動費の補助				
	法令 根拠					
	実施 形態	現在	補助金等交付			
	内容	やんしき踊りの保存・継承事業に関する指導・助言				

DO (実施)	活動指標								
	指標名	単位	年度	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	H31(2019)	
	※設定困難		目標値						
			実績値						

DO (実施)	成果指標								
	指標名	単位	年度	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	H31(2019)	
	普及活動回数	回	目標値	20	20	40	40	40	
			実績値	25	45	44			
	計算 根拠		達成率 (%)	125	225	110			
			実数値						
		ランク	A	A	A				

会計	一般会計	事業要員	正規職員	0.1
事業タイプ	単独事業	事業要員	臨時・嘱託	
経費区分	補助費等	事業要員	※所要時間	0

【単位:千円】

事業費	区分	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	補助金等名称
	予算額	300	300	300	300	300	
	決算額	300	300	300	300		

平成30年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

CHECK(評価)	必要性	【ニーズ】 住民等のニーズは十分に ありますか。 <input type="checkbox"/> ある	根拠	鯖江の伝統芸能として、まつりに多く参加し普及活動を行っており、市民の踊り手が増加している。	
		【行政関与】 行政が実施すべき事業で すか。 <input type="checkbox"/> はい	根拠	やんしきは鯖江の伝統芸能であり、保存・継承のための活動を行っている当協会を補助するのは妥当である。	
	効率・効果	【競合】 国、県、または民間のサー ビスと競合している事業は ないですか。 <input type="checkbox"/> ない	主体		【廃止可能性】 ある場合、当該事業の廃 止は可能ですか。 <input type="checkbox"/>
			事業名		
		根拠	やんしき踊りは市の無形文化財に指定されたものであり、この普及・後継者育成活動は継続すべきである。		
	有効性	【類似重複】 本市の事務事業の中で、 目的や概要が類似する事 務事業はないですか。 <input type="checkbox"/> ない	所管課		【統廃合可能性】 ある場合、当該事業の統 廃合は可能ですか。 <input type="checkbox"/>
			事業名		
根拠					
有効性	【コスト削減】 今以上に、コストを削減す る余地はありますか。 <input type="checkbox"/> ない	根拠	活動回数が増加状況であるため、削減はむずかしい。		
	【財源確保】 今以上に、財源を確保す る方法がありますか。 <input type="checkbox"/> なし	根拠	市の単独事業なので、これ以上は望めない。		
	【成果向上】 今以上に、成果を向上させ る余地はありますか。 <input type="checkbox"/> ある	根拠	普及活動を積極的に行い、やんしきの担い手を増加させることができる。		

ACTION	【平成30年度 取組み】	<input type="checkbox"/> 維持	【平成31年度 方向性】	<input type="checkbox"/> 維持
	平成30年度取組み	後継者育成および技術向上は継続して実施していく必要があるため、例年並みの内容で実施する。		平成31年度計画 昨年度同様の形態で実施する。昨年度の会の活動状況から判断して今年度の取組みは例年並みかあるいは例年以上になると判断されるため、次年度も引き続き同様の形態で実施したい。

【H31提案型市民主役オープン事業実施】	<input type="checkbox"/> 不可能					
年度	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	H31(2019)
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

平成30年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

H30 事業名	まなべDEわくわく !! アートフェスタ	事業コード 2078
------------	----------------------	---------------

総合戦略	基本施策 体系	基本目標	基本施策	実施施策
		若くて元気のまちの創造	学力・体力日本一のまち	文化活動の推進
325				

PLAN(計画)	部署名	文化課	開始年度	2010	終了年度	9999
	目的	子どもたちが芸術文化に触れ合うことのできる総合的芸術文化活動をととして、子どもたちに地域の伝統文化、歴史を伝え、郷土を愛する心や創造力豊かな人間性を育み、次世代の育成に努めるとともに市の文化振興を推進することを目的とする。				
	概要	鯖江市がこれまで築いてきた芸術文化、伝統芸能・工芸・産業、生活文化、歴史などの地域の資源や特性を活かした分野を中心に芸術文化を総合的に体験できる学びの場として開催する。また、登録博物館「まなべの館」として文化芸術活動の拠点となるよう積極的に活用し、市民に親しまれ愛される施設を目指す。				
	法令根拠					
	実施形態	現在	市直営	市が参加者を募集し、講師は一部、各種市民団体等に依頼し開催している。		
	内容					

DO(実施)	活動指標								
	指標名		単位	年度	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	H31(2019)
	体験教室の回数		日	目標値	1	1	1	1	1
				実績値	1	1	1		

DO(実施)	成果指標								
	指標名		単位	年度	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	H31(2019)
	参加人数		人	目標値	350	370	370	370	370
				実績値	348	368	400		
	計算根拠			達成率(%)	99.4	99.5	108.1		
		実数値							
			ランク	A	A	A			

タイプ	会計	一般会計	事業要員	正規職員	0.2
	事業タイプ	単独事業		臨時・嘱託	0.01
	経費区分	物件費		※所要時間	0

【単位:千円】

事業費	区分	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	補助金等名称
	予算額	647	600	703	709	650	
	決算額	611	453	460	709		

平成30年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

CHECK(評価)	必要性	【ニーズ】 住民等のニーズは十分に ありますか。 <input type="checkbox"/> ある	根拠	子どものころから文化芸術等に触れる機会を設けることにより、市の伝統文化、芸能、産業、歴史を継承していく人材を育成していかなければならないという機運は十分にある。	
		【行政関与】 行政が実施すべき事業で すか。 <input type="checkbox"/> はい	根拠	市の伝統文化等の継承のために、子どもたちを対象に芸術文化を総合的に体験できる事業を開催し文化振興の面からも行政の関与が必要である。	
	効率・効果	【競合】 国、県、または民間のサー ビスと競合している事業は ないですか。 <input type="checkbox"/> ない	主体		【廃止可能性】 ある場合、当該事業の廃 止は可能ですか。 <input type="checkbox"/>
		【類似重複】 本市の事務事業の中で、 目的や概要が類似する事 務事業はないですか。 <input type="checkbox"/> ない	事業名		
	有効性	【コスト削減】 今以上に、コストを削減す る余地はありますか。 <input type="checkbox"/> ない	根拠	最小限のコストで実施している。	
		【財源確保】 今以上に、財源を確保す る方法がありますか。 <input type="checkbox"/> 受益者負担	根拠	参加料を徴収することは可能であるが、子どもたちに気軽に芸術文化に接してもらうために、無料(材料費のみ一部負担)で開催することとする。	
【成果向上】 今以上に、成果を向上させ る余地はありますか。 <input type="checkbox"/> ある		根拠	毎年、体験内容を検討し、保護者や子ども達のニーズにあった企画を立案する。また、学校との連携を図る。		

ACTION	【平成30年度 取組み】 <input type="checkbox"/> 維持	【平成31年度 方向性】 <input type="checkbox"/> 維持
	平成30年度取組み 昨年同様の形態で実施。 5歳児から小・中学生親子を対象に、毎年、参加する子どもや保護者のニーズにあった体験プログラムを立案し、芸術、伝統文化、芸能、産業、生活文化、歴史、自然科学等を幅広く体験できる事業を開催する。	平成31年度計画 昨年同様の形態で実施。 平成30年度は抽選となるほど参加申込が多く、子どもたちの学ぶ意欲を向上させる事業として定着している。今後は事務局が運営しやすく、また、より多くの子どもたちが体験できるようカリキュラム等の見直しを検討していきたい。

【H31提案型市民主役オープン事業実施】 <input type="checkbox"/> 可能						
年度	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	H31(2019)
取組選択	可能	可能	可能	可能	可能	可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

平成30年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

H30 事業名	まちかど歴史浪漫コンサート	事業コード 2080
------------	---------------	---------------

総合戦略	基本施策体系	基本目標 若者が住みたくなるまちの創造	基本施策 ものづくり教育とふるさと学習の推進	実施施策 市民との協働事業の推進
	244			

PLAN(計画)	部署名	文化課	開始年度	2006	終了年度	9999
	目的	文化財建造物を舞台としたイベントを開催することにより、文化財の保存と活用に関する理解を深めるとともに、まちづくりの貴重な素材としての理解につながる機会を提供する。				
	概要	文化財建造物の内外を舞台として会場を設営し、音楽等コンサートを行う。その際には、文化財等を公開し、市民が直接、目に触れる機会を提供する。提案型市民役事業。				
	法令根拠					
	実施形態	現在	民間等委託(全部)			
	内容	提案型市民役事業として、プロポーザル形式で受託者を決定している。				

DO(実施)	活動指標								
	指標名	単位	年度	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	H31(2019)	
	文化財建造物を舞台としたコンサート等の実施	回	目標値	1	1	1	1	1	
			実績値	1	1	1			

DO(実施)	成果指標								
	指標名	単位	年度	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	H31(2019)	
	観客者(参加者)数	人	目標値	200	200	150	200	200	
			実績値	200	200	188			
	計算根拠	達成率(%)	100	100	125.3				
実数値									
	ランク	A	A	A					

タイプ	会計	一般会計	事業要員	正規職員	0.25
	事業タイプ	単独事業		臨時・嘱託	
	経費区分	物件費		※所要時間	0

【単位:千円】

事業費	区分	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	補助金等名称
	予算額	1,230	1,230	1,195	1,180	1,080	
	決算額	1,230	1,230	1,195	1,180		

平成30年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

CHECK(評価)	必要性	【ニーズ】 住民等のニーズは十分に ありますか。 <input type="checkbox"/> ある	根拠	文化財に対する市民の関心は、年々高まっており、市民が文化財に直接に触れる機会の提供が必要である。	
		【行政関与】 行政が実施すべき事業で すか。 <input type="checkbox"/> はい	根拠	文化財は、まちづくりの重要な素材であり、文化財の保存のほか、まちづくりの面からも行政の関与は必要である。	
	効率・効果	【競合】 国、県、または民間のサー ビスと競合している事業は ないですか。 <input type="checkbox"/> ない	主体		【廃止可能性】 ある場合、当該事業の廃 止は可能ですか。 <input type="checkbox"/>
			事業名		
		根拠			
	【類似重複】 本市の事務事業の中で、 目的や概要が類似する事 務事業はないですか。 <input type="checkbox"/> ない	所管課		【統廃合可能性】 ある場合、当該事業の統 廃合は可能ですか。 <input type="checkbox"/>	
事業名					
根拠					
【コスト削減】 今以上に、コストを削減す る余地はありますか。 <input type="checkbox"/> ない	根拠	多くの市民に参加してもらような企画を立案しなければならないので、出演者・音響・照明の面からもコスト削減は困難である。			
有効性	【財源確保】 今以上に、財源を確保す る方法がありますか。 <input type="checkbox"/> その他	根拠	地域と一体となつたまちづくりの観点から、地域のまちづくり団体等に、経費の一部を負担してもらう。		
	【成果向上】 今以上に、成果を向上させ る余地はありますか。 <input type="checkbox"/> ある	根拠	開催回数を増やしたり、著名な出演者に依頼すれば、観客数は増えると思われるが、経費の面で問題がある。		

ACTION	【平成30年度 取組み】	<input type="checkbox"/> 維持	【平成31年度 方向性】	<input type="checkbox"/> 維持
	平成30年度取組み	文化財活用イベントとして参加者も多いため、平成29年度と同様の予算規模を確保する。	平成31年度計画	昨年度同様の形態で実施する。 未実施ながら本年度は例年並みの参加者が見込まれるほか、地域と連携した新企画も複数提案・実施する予定。 このことから、次年度も同様の形態で実施する。

【H31提案型市民主役オープン事業実施】	<input type="checkbox"/> 可能					
年度	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	H31(2019)
取組選択	可能	可能	可能	可能	可能	可能
実施状況	実施	実施	実施	実施	実施	未実施

平成30年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

H30 事業名	ふるさと鯖江検定事業	事業コード	2549
------------	------------	-------	------

総合戦略	基本施策体系	基本目標	基本施策	実施施策
		若くて元気のまちの創造	学力・体力日本一のまち	文化活動の推進

PLAN(計画)	部署名	文化課	開始年度	2008	終了年度	9999
	目的	ふるさと鯖江に関する歴史・地理・文化・産業・経済などに関する検定を実施し、ふるさとへの理解を高める一助とする。				
	概要	「ふるさとさばえ」を広く知ってもらうため、鯖江の歴史や文化をテーマに4者択一で100問出題する検定を年1回実施する。合格者には、本市の特色を活かした技術で制作した特製の認定証を贈呈する。また、合格者については、市の文化事業の解説等に協力していただけるような方策を検討する。 大人の検定にあわせて、子どものころからふるさとの歴史に親しめるようキッズ検定を実施する(平成27年度より)。				
	法令根拠					
実施形態	現在	市直営				
	内容	市職員が問題を作成する。				

DO(実施)	活動指標								
	指標名	単位	年度	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	H31(2019)	
	検定の実施	回	目標値	1	2	2	2	2	
実績値			1	2	2				

DO(実施)	成果指標								
	指標名	単位	年度	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	H31(2019)	
	受験者数(申込者数)	人	目標値	120	150	150	150	150	
			実績値	72	265	260			
	計算根拠	達成率(%)	60	176.7	173.3				
実数値									
	ランク		C	A	A				

タイプ	会計	一般会計	事業要員	正規職員	0.2
	事業タイプ	単独事業		臨時・嘱託	0.01
	経費区分	物件費		※所要時間	0

【単位:千円】

事業費	区分	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	補助金等名称
	予算額	435	450	582	248	209	
	決算額	222	215	132	144		

平成30年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

CHECK(評価)	必要性	【ニーズ】 住民等のニーズは十分に ありますか。 <input type="text" value="ある"/>	根拠	ご当地検定ブームもあり、ふるさと鯖江について学び、その成果を試してみたいとの市民ニーズは十分にある。	
		【行政関与】 行政が実施すべき事業で すか。 <input type="text" value="はい"/>	根拠	史実に沿った正確な問題を作成し、検定を通して、ふるさと鯖江の歴史や文化について正しい知識を身につけてもらう。また、その知識の活用を図るためには、行政の関与が必要である。	
	効率・効果	【競合】 国、県、または民間のサー ビスと競合している事業は ないですか。 <input type="text" value="ある"/>	主体	県	【廃止可能性】 ある場合、当該事業の廃 止は可能ですか。 <input type="text" value="不可能"/>
			事業名	考福学検定	
	有効性	【類似重複】 本市の事務事業の中で、 目的や概要が類似する事 務事業はないですか。 <input type="text" value="ない"/>	根拠	鯖江市だけに関わる問題を作成し、検定を実施する必要がある。	
			所管課		【統廃合可能性】 ある場合、当該事業の統 廃合は可能ですか。 <input type="text"/>
事業名					
有効性	【コスト削減】 今以上に、コストを削減す る余地はありますか。 <input type="text" value="ある"/>	根拠	認定書の単価を下げる。		
		【財源確保】 今以上に、財源を確保す る方法がありますか。 <input type="text" value="受益者負担"/>	根拠	検定料を徴収する。	
			【成果向上】 今以上に、成果を向上させ る余地はありますか。 <input type="text" value="ある"/>	根拠	広報活動を積極的に行う。

ACTION	【平成30年度 取組み】 <input type="text" value="維持"/>	【平成31年度 方向性】 <input type="text" value="事務改善"/>
	平成30年度取組み 昨年同様の形態で実施。 「ふるさとさばえ」について広く知ってもらうため、鯖江の歴史や文化をテーマに検定を行う。 キッズ検定については学校の協力を得て実施し、一般は従来どおりの形で開催する。	平成31年度計画 「ふるさと鯖江検定」については平成30年度で11回を迎えるが、これまでは歴史・文化が出題の中心となっていたため、次回からは産業・観光等を含めた内容を再考する。 「キッズ検定」については、平成31年度まで継続することとする。

【H31提案型市民主役オープン事業実施】 <input type="text" value="可能"/>						
年度	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	H31(2019)
取組選択	可能	可能	可能	可能	可能	可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

平成30年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

H30 事業名	鯖江市美術展開催事業	事業コード	2556
------------	------------	-------	------

総合戦略	基本施策体系	基本目標	基本施策	実施施策
		若くて元気のまちの創造	学力・体力日本一のまち	文化活動の推進

PLAN(計画)	部署名	文化課	開始年度	2008	終了年度	9999
	目的	本市の美術文化の向上を図り、市民に親しまれる美術の祭典となることを目的とする。				
	概要	日本画・水墨画、絵画・造形、彫刻・立体、書道、工芸、写真、デザインの7部門に分けて、作品を募集し、審査の結果、入賞・入選作品を展示し、表彰を行う。会場は、まなべの館、禰陽会館の2会場。会期は5日間。運営にあたっては、アーツスタッフボランティアを募集する。会期中、アートワークショップを開催し、意見交換の場を設ける。また、子どもから大人まで気軽に美術に親しんでもらうために「気軽にアート展」も同時開催する。				
	法令根拠					
	実施形態	現在	市直営	市民が主体となった実行委員会で実施する。		

DO(実施)	活動指標								
	指標名	単位	年度	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	H31(2019)	
	作品の応募点数	点	目標値	500	500	450	450	450	

DO(実施)	成果指標								
	指標名	単位	年度	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	H31(2019)	
	会場への来場者数	人	目標値	10,000	10,000	7,000	8,000	8,000	
			実績値	8,415	6,760	7,511			
	計算根拠	市民の文化意識の向上を会場への来場者数で判断する。※H24から開催期間が10日間から5日間に変更。※H27から開催日を11月に、会場を2会場に変更。			達成率(%)	84.2	67.6	107.3	

タイプ	会計	一般会計	事業要員	正規職員	0.5
	事業タイプ	単独事業		臨時・嘱託	0.1
	経費区分	物件費		※所要時間	0

【単位:千円】

事業費	区分	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	補助金等名称
	予算額	2,000	2,285	2,408	2,280	2,263	
	決算額	1,677	2,267	2,079	2,110		

平成30年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

CHECK(評価)	必要性	【ニーズ】 住民等のニーズは十分に ありますか。 <input type="checkbox"/> ある	根拠	余暇を利用して、美術作品を制作したり、その作品を出展したいとの市民ニーズは高い。	
		【行政関与】 行政が実施すべき事業で すか。 <input type="checkbox"/> はい	根拠	市全体の美術文化の向上を図ることが目的であるので、行政の関与は必要である。	
	効果・効果	【競合】 国、県、または民間のサー ビスと競合している事業は ないですか。 <input type="checkbox"/> ある	主体	県	【廃止可能性】 ある場合、当該事業の廃 止は可能ですか。 <input type="checkbox"/> 不可能
			事業名	県美展	
	有効性	【類似重複】 本市の事務事業の中で、 目的や概要が類似する事 務事業はないですか。 <input type="checkbox"/> ない	根拠	市美展は、市民の美術の祭典であり、広く、気軽に作品を募集するので、県美展との統合は不可能である。	
			所管課		【統廃合可能性】 ある場合、当該事業の統 廃合は可能ですか。 <input type="checkbox"/>
事業名					
	【コスト削減】 今以上に、コストを削減す る余地はありますか。 <input type="checkbox"/> ない	根拠	報償費の占める割合が高いので、コストを削減する余地はない。		
	【財源確保】 今以上に、財源を確保す る方法がありますか。 <input type="checkbox"/> 受益者負担	根拠	出品料の増額が考えられるが、幅広く募集すると趣旨からすると困難である。		
	【成果向上】 今以上に、成果を向上させ る余地はありますか。 <input type="checkbox"/> ある	根拠	将来的には会場を一つにするなど、市民のニーズにあった公募展になるよう検討する。		

ACTION	【平成30年度 取組み】 <input type="checkbox"/> 維持	【平成31年度 方向性】 <input type="checkbox"/> 維持
	平成30年度取組み 昨年同様の形態で実施。実行委員会を中心に市民の意見を取り入れ、市民の美術の祭典としてふさわしく市民に親しまれる美術展を開催する。引き続き、連携大学、市内の高校に協力を依頼し、学生などの若手の出品者が増えるように広報にも力を入れて取り組む。また、「気がるにあーと展」では学校と協力を得て実施する。	平成31年度計画 昨年同様の形態で実施するが、会期を美術展等の事業が多い11月から3月に移動し、市民により親しまれる美術展を開催する。

【H31提案型市民主役オープン事業実施】 <input type="checkbox"/> 可能						
年度	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	H31(2019)
取組選択	可能	可能	可能	可能	可能	可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

平成30年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

H30 事業名	市民学講座	事業コード	2630
------------	-------	-------	------

総合戦略	基本施策 体系	基本目標	基本施策	実施施策	325
		若くて元気のまちの創造	学力・体力日本一のまち	文化活動の推進	

PLAN(計画)	部署名	文化課	開始年度	2010	終了年度	9999
	目的	鯖江藩主「間部」にちなみ、鯖江のことをいろいろな角度で学び、郷土に興味と誇りを持ってもらう。				
	概要	リニューアルされた「まなべの館」において、ふるさと鯖江に関する歴史・芸術・産業・自然等のさまざまな分野を代表する講師を招き、市民講座を開催する。提案型市民役事業および明治大学連携講座を統合。				
	法令 根拠					
実施 形態	現在	民間等委託（全部）				
	内容	講師の選定や会場借上げ等、すべての事務を委託して講座を開催している。				

DO(実施)	活動指標								
	指標名	単位	年度	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	H31(2019)	
	講座開催数	回	目標値	4	4	3	4	4	
実績値			4	3	5				

DO(実施)	成果指標								
	指標名	単位	年度	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	H31(2019)	
	参加者数	人	目標値	200	200	200	120	120	
			実績値	200	162	147			
	計算 根拠	達成率 (%)		100	81	73.5			
実数値									
			ランク	A	B	C			

タイプ	会計	一般会計	事業 要員	正規職員	0.2
	事業タイプ	単独事業		臨時・嘱託	0.2
	経費区分	物件費		※所要時間	0

【単位:千円】

事業費	区分	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	補助金等名称
	予算額	656	656	656	470	630	
	決算額	656	656	656	470		

平成30年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

CHECK(評価)	必要性	【ニーズ】 住民等のニーズは十分に ありますか。 <input type="checkbox"/> ある	根拠	鯖江の基礎となった鯖江藩に始まる市内の歴史をはじめとする文化全般に対する関心度は高い。	
		【行政関与】 行政が実施すべき事業で すか。 <input type="checkbox"/> はい	根拠	歴史に対する正確な認識、正確な情報を住民に提供することは、行政が実施すべき事業である。	
	効率・効果	【競合】 国、県、または民間のサー ビスと競合している事業は ないですか。 <input type="checkbox"/> ない	主体		【廃止可能性】 ある場合、当該事業の廃 止は可能ですか。 <input type="checkbox"/>
		事業名			
	有効性	【類似重複】 本市の事務事業の中で、 目的や概要が類似する事 務事業はないですか。 <input type="checkbox"/> ある	所管課	鯖江公民館	【統廃合可能性】 ある場合、当該事業の統 廃合は可能ですか。 <input type="checkbox"/> 可能
		事業名	殿様学習会		
根拠		殿様学習会は、惜陰小学校と進徳小学校の6年生を対象にした事業であるので、統廃合は不可能である。			
	【コスト削減】 今以上に、コストを削減す る余地はありますか。 <input type="checkbox"/> ある	根拠	講師を県外から招聘するのではなく、県内の方をお願いする。		
	【財源確保】 今以上に、財源を確保す る方法がありますか。 <input type="checkbox"/> 受益者負担	根拠	講座に参加する方から参加料を徴収することが考えられるが、広く、参加を求めることを考慮すると現実的には困難である。		
	【成果向上】 今以上に、成果を向上させ る余地はありますか。 <input type="checkbox"/> ある	根拠	鯖江地区のまちづくり団体と協働して事業を実施する。		

ACTION	【平成30年度 取組み】 <input type="checkbox"/> 統合	【平成31年度 方向性】 <input type="checkbox"/> 事務改善
	平成30年度取組み 3081 明治大学連携講座と統合し「市民学講座」として実施。 「まなべ学」講座は提案型市民主役事業として、「明治大学連携講座」は明治大学社会連携事務室と委託連携し、市民に対して、歴史・芸術文化を中心にした講座を開催する。	平成31年度計画 提案型市民主役事業の「まなべ学」講座は当初目的を概ね達成したことから、市民まちづくり課と協議を行い、廃止を検討する。 もう一つの「明治大学連携講座」は明治大学社会連携事務室と委託連携し、市民を対象に歴史・芸術文化を中心にした講座を引き続き開催する。また、増大している文化財調査事業の一部を明治大学に委託実施する方向で検討する。 よって、市民学講座という名称についても、「明治大学連携事業」へと変更を検討する。

【H31提案型市民主役オープン事業実施】 <input type="checkbox"/> 可能						
年度	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	H31(2019)
取組選択	可能	可能	可能	可能	可能	可能
実施状況	実施	実施	実施	実施	実施	未実施

平成30年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

H30 事業名	近松が生まれたまちさばえ発信事業	事業コード	3080
------------	------------------	-------	------

総合戦略	基本施策 体系	基本目標	基本施策	実施施策	325
		若くて元気のまちの創造	学力・体力日本一のまち	文化活動の推進	

PLAN(計画)	部署名	文化課	開始年度	2012	終了年度	9999
	目的	平成23年度で、まちづくり交付金事業が終了し、継続性が必要なものについて予算付けして「近松のまちさばえ」を情報発信してきたが、28年度に近松鯖江生誕説が発表されたことに伴い新たに「近松が生まれたまちさばえ」を全国に情報発信する。				
	概要	<ul style="list-style-type: none"> 鯖江人形浄瑠璃「近松座」によるPR出前公演を委託する。 「立待月観月の夕べ」開催を委託する。 近松入門講座を市民主役事業として委託する。 				
	法令根拠					
	実施形態	現在	民間等委託（一部）			
内容	PR公演は、鯖江人形浄瑠璃「近松座」に委託、「立待月観月の夕べ」は、近松の里づくり事業推進会議に委託、「近松入門講座」は市民主役事業として委託して開催する。					

DO(実施)	活動指標							
	指標名	単位	年度	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	H31(2019)
	近松座による出前公演の回数	回	目標値	8	8	8	15	15
実績値			27	15	19			

DO(実施)	成果指標							
	指標名	単位	年度	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	H31(2019)
	たちまち近松まつり・立待月観月の夕べの観客数	人	目標値	8,500	8,500	8,500	10,500	10,500
			実績値	10,000	10,000	10,000		
	計算根拠	「近松のまちさばえ」が浸透しているかどうかをイベントの観客数で判断する。		達成率(%)	117.6	117.6	117.6	
		実数値						
			ランク	A	A	A		

タイプ	会計	一般会計	事業要員	正規職員	0.1
	事業タイプ	単独事業		臨時・嘱託	0.1
	経費区分	物件費		※所要時間	0

【単位:千円】

事業費	区分	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	補助金等名称
	予算額	1,700	1,700	1,700	1,700	1,882	
	決算額	1,700	1,700	1,700	1,700		

平成30年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

CHECK (評価)	必要性	【ニーズ】 住民等のニーズは十分に ありますか。 <input type="checkbox"/> ある	根拠	ブランド力の高い近松門左衛門を情報発信して、「鯖江の近松」としてまちづくりを推 進していくニーズがある。	
		【行政関与】 行政が実施すべき事業で すか。 <input type="checkbox"/> はい	根拠	市が一体となって近松のまちづくりを推進していく必要がある。	
	効率・効果	【競合】 国、県、または民間のサー ビスと競合している事業は ないですか。 <input type="checkbox"/> ない	主体		【廃止可能性】 ある場合、当該事業の廃 止は可能ですか。 <input type="checkbox"/>
		事業名			
		根拠			
	有効性	【類似重複】 本市の事務事業の中で、 目的や概要が類似する事 務事業はないですか。 <input type="checkbox"/> ない	所管課		【統廃合可能性】 ある場合、当該事業の統 廃合は可能ですか。 <input type="checkbox"/>
		事業名			
根拠					
有効性	【コスト削減】 今以上に、コストを削減す る余地はありますか。 <input type="checkbox"/> ない	根拠	必要最小限の額で実施している。		
	【財源確保】 今以上に、財源を確保す る方法がありますか。 <input type="checkbox"/> その他	根拠	財団等の助成金を活用する。		
	【成果向上】 今以上に、成果を向上させ る余地はありますか。 <input type="checkbox"/> ない	根拠	限られた財団等の助成金を活用した事業実施のため困難。		

ACTION	【平成30年度 取組み】	<input type="checkbox"/> 統合	【平成31年度 方向性】	<input type="checkbox"/> 維持
	平成30年度取組み	533「近松講座」と統合し、「近松が生まれたまちさばえ 発信事業」として実施する。 提案型市民主役事業として「近松講座」、鯖江人形浄瑠璃 「近松座」による文楽公演委託事業、近松のまちづくり推 進活動事業（近松の里づくり推進会議）開催委託を行 い、近松のまち鯖江を全国発信する。	平成31年度計画	昨年と同様の形態で実施。 提案型市民主役事業「近松講座」、文楽公演委託事業、近 松のまちづくり推進活動事業（近松の里づくり推進会 議）開催委託を行い、近松が生まれたまち鯖江の全国発 信を強化する。 今後、近松が生まれたまち鯖江を確定づける調査成果を 受け、32年度に向けて「近松の部屋」の展示替えや、シン ポジウム等の事業開催を検討していく。

【H31提案型市民主役オープン事業実施】	<input type="checkbox"/> 可能					
年度	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	H31(2019)
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	可能	可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	実施	未実施

平成30年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

H30 事業名	市内文化財悉皆調査事業	事業コード 3082
------------	-------------	---------------

総合戦略	基本施策 体系	基本目標	基本施策	実施施策	325
		若くて元気のまちの創造	学力・体力日本一のまち	文化活動の推進	

PLAN(計画)	部署名	文化課	開始年度	2011	終了年度	9999
	目的	文化財を保存保護し、郷土に誇りを持つ人材の育成を図るために、指定文化財候補となるべき物件の悉皆調査を実施する。 ※平成19～21年度に実施した建造物調査事業（福井工大委託）も同趣の事業である。				
	概要	鯖江市文化財調査委員会での諮問をはじめとして、多方面からの要望等に基づき、事務局において調査が必要と判断された文化財について調査を実施するもの。				
	法令根拠					
	実施形態	現在	市直営			
	内容	市職員（学芸員）が直接市内各地の文化財を訪問し、調査を行う。				

DO(実施)	活動指標								
	指標名		単位	年度	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	H31(2019)
	悉皆調査の回数		回	目標値	10	10	8	5	5
				実績値	10	10	8		
	成果指標								
	指標名		単位	年度	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	H31(2019)
	調査した文化財の数		件(点)	目標値	50	50	40	10	10
				実績値	60	50	39		
	計算根拠			達成率(%)	120	100	97.5		
				実数値					
				ランク	A	A	A		
タイプ	会計	一般会計		事業要員	正規職員	0.17			
	事業タイプ	単独事業		事業要員	臨時・嘱託	0.67			
	経費区分	物件費		事業要員	※所要時間	0			
【単位:千円】									
事業費	区分	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	補助金等名称		
	予算額	50	50	60	60	60			
	決算額	50	50	50	60				

平成30年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

CHECK(評価)	必要性	【ニーズ】 住民等のニーズは十分に ありますか。 <input type="text" value="ある"/>	根拠	指定文化財の候補物件の特定を行うという性格の事業であり、市長の指定文化財を増やすというマニフェスト実現の一翼を担うものであるため、ニーズはあるものと判断される。	
		【行政関与】 行政が実施すべき事業で すか。 <input type="text" value="はい"/>	根拠	悉皆調査は学芸員が直接訪問し実施するものであり、専門的な知識・技術をもつものは市内では学芸員のみである。よって行政が実施すべきである。	
	効率・効果	【競合】 国、県、または民間のサー ビスと競合している事業は ないですか。 <input type="text" value="ない"/>	主体		【廃止可能性】 ある場合、当該事業の廃 止は可能ですか。 <input type="text"/>
			事業名		
			根拠	指定文化財を増やすという施策を推進するためには、この事業は必要である	
		【類似重複】 本市の事務事業の中で、 目的や概要が類似する事 務事業はないですか。 <input type="text" value="ない"/>	所管課		【統廃合可能性】 ある場合、当該事業の統 廃合は可能ですか。 <input type="text"/>
	事業名				
		根拠			
	【コスト削減】 今以上に、コストを削減す る余地はありますか。 <input type="text" value="ない"/>	根拠	専門研究者への謝礼、写真撮影委託等がほとんどであり、その他は市職員の業務として実施している。		
有効性	【財源確保】 今以上に、財源を確保す る方法はありますか。 <input type="text" value="なし"/>	根拠	市町村内における文化財の悉皆調査についての補助メニューは知られていない。		
	【成果向上】 今以上に、成果を向上させ る余地はありますか。 <input type="text" value="ある"/>	根拠	担当する職員数を増やせば調査期間が短縮できるので、その成果を短期間のうちに市民に公開できる。		

ACTION	【平成30年度 取組み】	<input type="text" value="維持"/>	【平成31年度 方向性】	<input type="text" value="統合"/>
	平成30年度取組み	文化財指定のために必要な調査として継続する。平成30年度は十王像および十王信仰関連の調査等を実施する。	平成31年度計画	昨年度同様の形態で実施する。文化財調査委員会において、市内に眠る未調査の文化財候補物件調査の必要性は毎年指摘されており、それを反映して実施。特に保存保護の必要なものについては市指定文化財への道筋をつける。なお、業務内容が近い3314と統合を図り「文化財調査事業」として名称の変更を検討する。

【H31提案型市民主役オープン事業実施】	<input type="text" value="不可能"/>					
年度	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	H31(2019)
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

平成30年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

H30 事業名	古文書調査事業	事業コード
		3314

総合戦略	基本施策体系	基本目標	基本施策	実施施策
		若くて元気のまちの創造	学力・体力日本一のまち	文化活動の推進

PLAN(計画)	部署名	文化課	開始年度	2015	終了年度	2019
	目的	未整理の古文書類を調査・整理することで、貴重な新史料の発見が期待され、指定文化財の増加や特別展示の企画に関する材料として活用が期待される。				
	概要	鯖江市まなべの館に収蔵されている未整理の古文書資料の調査・整理を実施する。 (鯖江市まなべの館に所蔵されている未整理状態の近世史料8,000点を中心に、諸家所有史料、区有史料などの古文書について、基本的な情報を得るための調査を実施)				
	法令根拠					
実施形態	現在	民間等委託(全部)				
内容		市職員が保管資料を整理し、5ヶ年計画で、近世史料を専門とする大学研究室に委託する。				

DO(実施)	活動指標							
	指標名	単位	年度	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	H31(2019)
	古文書の搬入点数		目標値	945	1,800	1,000	2,000	1,000
		実績値	945	1,800	800			

DO(実施)	成果指標							
	指標名	単位	年度	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	H31(2019)
	古文書の調査作成点数	点	目標値	945	1,800	1000	2,000	1,000
			実績値	945	1,800	800		
	計算根拠		達成率(%)	100	100	80		
		実数値						
		ランク	A	A	B			

会計	一般会計	事業要員	正規職員	0.1
事業タイプ	単独事業	事業要員	臨時・嘱託	
経費区分	物件費	事業要員	※所要時間	0

【単位:千円】

事業費	区分	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	補助金等名称
	予算額		355	300	300	300	
	決算額		355	300	300		

平成30年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

CHECK(評価)	必要性	【ニーズ】 住民等のニーズは十分に ありますか。 <input type="text" value="ある"/>	根拠	未整理の古文書の概要把握を行う事業であり、市長の指定文化財を増やすというマニフェスト実現の一翼を担うものであるため、ニーズはあるものと判断される。	
		【行政関与】 行政が実施すべき事業で すか。 <input type="text" value="はい"/>	根拠	古文書調査は学芸員が直接訪問し実施するものであり、専門的な知識・技術をもつものは市内では学芸員のみである。よって行政が実施すべきである。	
	効率・効果	【競合】 国、県、または民間のサー ビスと競合している事業は ないですか。 <input type="text" value="ない"/>	主体		【廃止可能性】 ある場合、当該事業の廃 止は可能ですか。 <input type="text"/>
			事業名		
		根拠			
	有効性	【類似重複】 本市の事務事業の中で、 目的や概要が類似する事 務事業はないですか。 <input type="text" value="ない"/>	所管課		【統廃合可能性】 ある場合、当該事業の統 廃合は可能ですか。 <input type="text"/>
事業名					
根拠					
有効性	【コスト削減】 今以上に、コストを削減す る余地はありますか。 <input type="text" value="ない"/>	根拠			
		根拠			
	【財源確保】 今以上に、財源を確保す る方法がありますか。 <input type="text" value="なし"/>	根拠			
有効性	【成果向上】 今以上に、成果を向上させ る余地はありますか。 <input type="text" value="ない"/>	根拠			
		根拠			

ACTION	【平成30年度 取組み】 <input type="text" value="維持"/>	【平成31年度 方向性】 <input type="text" value="統合"/>
	平成30年度取組み 平成30年度は平等会寺所蔵の経典類(2,000冊)を対象として調査する予定である。	平成31年度計画 昨年度同様の形態で実施。 文化財調査委員会において、未整理・未調査の古文書の調査の必要性が指摘されており、それを反映して実施。特に保存保護の必要なものについては市指定文化財への道筋をつける。 なお、業務内容が近い3082と統合を図り「文化財調査事業」として名称の変更を検討する。

【H31提案型市民主役オープン事業実施】	<input type="text" value="不可能"/>					
年度	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	H31(2019)
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

平成30年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

H30 事業名	まなべの館企画展開催事業	事業コード 3399
------------	--------------	---------------

総合戦略	基本施策 体系	基本目標	基本施策	実施施策	325
		若くて元気のまちの創造	学力・体力日本一のまち	文化活動の推進	

PLAN(計画)	部署名	文化課	開始年度	2014	終了年度	9999
	目的	博物館活動の中核を担う企画展開催事業を通して、教育・学術向上への寄与を図るだけでなく、本市の芸術文化・歴史等のさらなる向上を図ることを目的とする。また、登録博物館としてのまなべの館の活用を積極的に図り、安定した事業運営を確保する。				
	概要	歴史、芸術、民俗、産業、自然科学および現代社会が抱える問題など、まなべの館展覧会開催方針に伴ったテーマのもと企画展開催事業等を実施する。				
	法令根拠					
実施形態	現在	市直営				
内容		市職員(学芸員)が企画し、資料所有者との交渉や展示パネルの原稿作成を行なう。				

DO(実施)	活動指標								
	指標名		単位	年度	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	H31(2019)
	企画展の開催		回	目標値	4	4	3	3	3
				実績値	4	5	3		
	成果指標								
	指標名		単位	年度	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	H31(2019)
	入館者数		人	目標値	5,000	5,000	5,000	7,000	5,000
				実績値	8,369	9,754	7,565		
	計算根拠			達成率(%)	167.4	195.1	151.3		
				実数値					
				ランク	A	A	A		
タイプ	会計	一般会計		事業要員	正規職員	0.2			
	事業タイプ	単独事業		事業要員	臨時・嘱託	0.1			
	経費区分	物件費		事業要員	※所要時間	0			

【単位:千円】

事業費	区分	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	補助金等名称 都市再生整備計画事業費補助金(国庫補助)
	予算額		5,000	5,000	5,000	5,000	
	決算額			5,000	5,000		

平成30年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

CHECK(評価)	必要性	【ニーズ】 住民等のニーズは十分に ありますか。 <input type="checkbox"/> ある	根拠	入館者数は増加傾向にあり、住民ニーズはある。	
		【行政関与】 行政が実施すべき事業で すか。 <input type="checkbox"/> はい	根拠	市の設管条例に明記されたまなべの館の事業であり、行政の関与は必要である。	
	効率・効果	【競合】 国、県、または民間のサー ビスと競合している事業は ないですか。 <input type="checkbox"/> ある	主体	県立美術館、県立博物館ほか	【廃止可能性】 ある場合、当該事業の廃 止は可能ですか。 <input type="checkbox"/> 不可能
			事業名	各種展覧会事業	
	有効性	【類似重複】 本市の事務事業の中で、 目的や概要が類似する事 務事業はないですか。 <input type="checkbox"/> ない	根拠	県全域をフィールドとした県施設の事業と一部重複することはあるが、各市町の住民ニーズを深く反映した事業を実施できるのは当該市町の博物館施設のみである。	
			所管課		【統廃合可能性】 ある場合、当該事業の統 廃合は可能ですか。 <input type="checkbox"/> 不可能
事業名					
有効性	【コスト削減】 今以上に、コストを削減す る余地はありますか。 <input type="checkbox"/> ない	根拠	年間入館者数を維持し、展覧会開催事業を実施する上で最低限の予算である。		
		【財源確保】 今以上に、財源を確保す る方法はありませんか。 <input type="checkbox"/> なし	根拠	現在、都市再生整備計画事業費補助金を活用しており、これ以外の補助メニューは見当たらない	
			【成果向上】 今以上に、成果を向上させ る余地はありますか。 <input type="checkbox"/> ない	根拠	多館と比較しても現状の予算では最大限の効果をあげている。全国レベルの展覧会を開催していけば、入館者数が高くなる。

ACTION	【平成30年度 取組み】	<input type="checkbox"/> 維持	【平成31年度 方向性】	<input type="checkbox"/> 維持
	平成30年度取組み	平成28年度以前は文化事業運営費で、平成29年度より国交省の都市再生整備計画事業費を財源として5ヶ年（～H33年度）事業で実施する。博物館・美術館に若い世代や子どもたちが多数足を運べるような企画内容の事業を展開していく。	平成31年度計画	昨年同様の形態で実施。平成29年度より国交省の都市再生整備計画事業費を財源として、5ヶ年間（～H33年度）の親子で楽しめるミュージアム事業として実施する。博物館・美術館に若い世代や子どもたちが多数足を運べるような企画内容の事業を引き続き展開していく。

【H31提案型市民主役オープン事業実施】	<input type="checkbox"/> 不可能					
年度	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	H31(2019)
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施